

上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会 令和元年度第4回総会
議事要旨

日時：令和2年2月21日（金）14：00～15：35

会場：木田庁舎 401 会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

①パブリックコメントの意見を踏まえた修正内容について

→資料1について、事務局から説明を行った。

②第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略<普及版>（素案）

→資料2について、事務局から説明を行った。

発言要旨

（新潟県上越地域振興局 齋藤企画振興部長）

- ・人口減とその背景に2ページ分使われているが、前段が長い印象を受ける。戦略本文との文量とのバランスが違う。2ページ目の内容が戦略本文にあまり記載がないにもかかわらず、普及版でこれほどスペースを割くのか。
- ・1ページ目の構成について、一番上に「20年後の上越市の人口は、約15万人と予測されています。」というキャッチーな記載があるが、これが何を表しているのかが分かりづらい。「第2期総合戦略<普及版>」という記載は、一番上に持ってきたほうが良いのではないか。
- ・総合戦略の将来人口の目標では、20年後に15万4千人以上の人口を維持するとしており、人口が減るのは避けて通れないため、人口減少の緩和の観点での記載もあればさらに分かりやすくなるのではないか。
- ・最後のページは写真があり、分かりやすくてよいが、強いて言えば、各政策分野に基本目標を入れるとよいのではないか。

(上越教育大学 永井研究連携課長)

- ・人口減の記載は、1 ページでよいのではないか。どんなことをやるのか、具体的な内容を増やすとよい。

(上越商工会議所 板垣理事・事務局長)

- ・1 ページ目の構成について、タイトルは上にあったほうが良い。

(新潟県立看護大学 吉澤教務学生課長)

- ・1 ページ目の構成について、タイトルは上にあったほうが良い。
- ・最後の写真が載っているページは、イメージしやすくしてよい。

(上越信用金庫 中條総合企画部副部長)

- ・1 ページ目の構成について、タイトルは上にあったほうが良い。
- ・1 ページ目の「20 年後の上越市の人口は、約 15 万人と予測されています。」という記載は、一般の人にはなじみが薄く、分かりづらいのではないか。今後の人口の推移をもっと前面に出すと一般の人にも分かりやすくなるのではないか。
- ・2 ページ目は、女性の転入が少ない等の現状の問題点や課題がコンパクトにまとまっている。
- ・最後のページは、写真を使用することによって子どもや高齢者にもイメージしやすくなっている。

(中央農業研究センター北陸研究拠点 高橋コーディネーター)

- ・現状の説明(1,2 ページ目)の分量が多い。
- ・全体的に文字が多い。ぱっと見て分かりやすいほうが良い。
- ・色味が明るいほうが良い。

(上越市商工会連絡協議会 浦川原商工会 山岸経営支援室長)

- ・1 ページ目の 20 年後の人口が 15 万人という記載は、インパクトがあってよい。
- ・1 ページ目の構成について、タイトルは上にあったほうが良い。

(上越商工会議所 秋山庶務係長)

- ・この「普及版」は、人口減少を考えるきっかけであることから、上越市の地方創生に向けて、市民が身近に取り組める事例などの記載があると、一人一人の行動につながるのではないか。
- ・人口減少対策は、自然減の緩和が大切であることから、合計特殊出生率の記載をインパクトあるものとしてほしい(数字を大きくする等)。

(2) 第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合の推進に向けて

①令和2年度当初予算における第2期総合戦略に基づく主な新規・拡充事業

→資料3、4について、事務局から説明を行った。

発言要旨

(上越商工会議所 秋山庶務係長)

- ・提案モデル型の募集時期はいつごろか。
- ・現在第2期総合戦略に乗っていない事業も対象となるのか。

(上越市企画政策課 藤村係長)

- ・一つ目の質問に対して、4月から募集を開始し、締切を5月下旬頃に設定するというスケジュールを想定しているが、今後内部で詰めていきたい。また、詳細は早めに協議会の皆さんにご案内するとともに、今回初めての制度であることから、丁寧な説明に努めていきたい。
- ・二つ目の質問に対して、新たに実施する事業も交付対象とするが、総合戦略に対してどのように効いてくるのかというところが、ポイントとなる。

(上越商工会議所 秋山庶務係長)

- ・第2期地方創生推進事業補助金について、商工会の中で説明してもよいか。

(上越市企画政策課 藤村係長)

- ・制度の詳細は、今後開催する説明会でお話しするが、本日の資料に書かれている内容程度であれば、問題ない。

(上越商工会議所 秋山庶務係長)

- ・資料3の事業No.18「若者等の活躍と将来のUターン促進の取組」について、上越市を離れる前の高校生にスポットを当てることも必要であると思うが、すでに上越市を離れた後の例えば21歳や22歳などに対しての取組も必要ではないか。

(上越市企画政策課 藤村係長)

- ・当事業は、次年度が初めての試みとなる事業である。次年度は、今まで接点を持てなかった層（市内の高校生や市外に出て行った若い世代）とのつながりを作る第一段階であると捉えている。その後、接点を持つ中で見えてくるところやできる事業があれば、検討していきたい。

②第2期総合戦略に基づく協議会参加団体の取組

→資料5について、各団体が説明を行った。

発言要旨

(上越商工会議所 秋山庶務係長)

- ・商工会議所の会員から、上教大の学生や留学生と就職マッチングのような取組ができないかという要望が出ているが、そのような交流の機会を作ることは可能か。
- ・次年度の取組として、商工会議所の会員以外の事業所を巻き込み、セミナーや講演会をすることを予定しているが、その際に県立看護大学の出前講座を活用し、講師を派遣していただくことは可能か。
- ・上越信用金庫の「ふるさと絆プロジェクト」は、ボランティアの派遣とあるが、商工会議所主催のきき酒マラソンにボランティアを派遣していただくことは可能か。

(上越教育大学 永井研究連携課長)

- ・留学生は一般の企業に勤める人もいると聞いている。そういった機会を設けてもらえれば、交流は可能である。
- ・上教大でも出前講座を開設しているので、利用いただくことが可能である。

(新潟県立看護大学 吉澤教務学生課長)

- ・ホームページに出前講座のテーマを掲載しているので、マッチするテーマがあれば可能である。ホームページから申し込んでいただきたい。

(上越信用金庫 中條総合企画部副部長)

- ・ボランティア派遣の要請があれば、内部で参加者を募り、派遣することは可能である。

4 その他

→事務局から、今後のスケジュールについて説明。

5 閉会